

# みかい

安住院便り  
(第36号)

平成28年1月1日発行

〒703-8236

岡山市中区国富3丁目1-29

住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

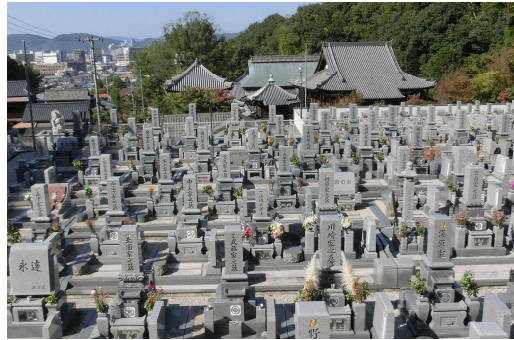
## お墓参り

約十年前より、当院境内に「安住院みかい霊園」として墓地を整備し、現在第三期の契約募集を続けています。当院の檀家さんの中にも墓石を建立された方もおられます。静かな瓶井の谷にあり、自動車でも参ることが可能ですので、ご先祖からの墓地を移動された方も多くおられます。

以前の安住院便りでも紹介しましたが、操山には古墳が数多く点在し、その時代には、地方の豪族を始め、人々の霊魂を鎮める山でありました。そして、

仏教が広まると共に、当院を始め各寺院が操山の周囲に建てられ、神仏を祀るのに相応しい場所として知られてきました。葬送儀礼も、時代の変遷により、埋葬目的の大きな古墳の形態から、仏教から取り入れた浄土思想による、供養の対象としての墓地が一般的になりました。

現在、「お墓」と言えば、墓地とその上に立つ墓石と中に納める遺骨を指します。



最近、お墓の整理に関する相談を多く受けるようになりました。小さくまとめたとか、他に移動したとか、様々ですが、子供や孫が参ってくれるだろうかと心配されている方もおられます。亡くなった先のことまで色々とお悩むのは大変な事ですよと申し上げたいところです。

法事をしつかりと行い、お盆などに一緒にお墓に手を合わせているお孫さんは、おじいさん・おばあさんが亡くなつてから、きつとお墓参りをしてくれと信じています。それが仏教に限らず、日本伝統の文化ではないでしょうか。当院霊園に、お盆やお彼岸の時、新しい花が手向けられ、線香の香りが漂う、そのような光景が多く見受けられることは嬉しいことです。

お墓は、決して亡くなって入るためのものでありません。供養にお参りする方々のためにあるのです。ご先祖を想い、仏様に感謝し、家族の幸せを願う、その対象がお墓です。私たちには、はつきりと見て分かるものが、必要なのです。

家族と一緒に水と花と線香を用意し、心静かに手を合わせお参りをする全てがお墓参りなのです。その時間と空間を是非大切に思ってください。

合掌

安住院ホームページ <http://www.anjuin.com/>

## 初観音法会のご案内

来る一月十七日(日曜)

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。

年頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、ご参詣下さい。また、特別祈祷も申し受けますので、三日前までにご連絡下さい。

### (生駒 善勝) (その⑥)

高野山奥の院の燈籠堂にある壺千年以上、守られ灯し続けられている、「消えずの灯」に秘められた昔話です。

【お照の一燈】 むかし、和泉の国の横尾山のふもと横山村に百姓の奥山源左衛門(源左さん)とお幸さんが住んでいました。子宝に恵まれるようにと横尾山の観音様にいつも詣っていました。ある日の帰り道、道標の草むらの中から赤子の泣く声がし、

近付くと、浪人の編笠の中に、

赤絹の小袖と短冊と共に赤子が捨てられていました。二人は子供を授かりたいと毎日願っていたので、観音様が授けて下さったと喜びました。

短冊には「千代までも 行末をもつ みどり子を 今日しき捨てる 袖ぞ悲しき 拝領の小袖と共に、照女へ」とあり、お照と名付けました。

お照はすすく育ち村人から「心優しく器量が良い」と評判の娘になりましたが、十三歳の時、母を亡くし、父も病気になるました。そこで、父は枕元にお照を呼び生い立ちを話して聞かせ、実の親の形見の赤絹の小袖と短冊を渡しました。父も亡くなった後、

お照の為に源左さんが残してくれた田畑と家を遠縁の者が後を継ぐと言いつい出し、争う村人もいました。お照はそれを断り、養父母の位牌と実の親の形見を持って、二人の墓近くの小屋に移り住みました。

そして、お照は雨の日も風の日も一日も欠さず二人のお墓へ詣り続けました。(・・・

・次号に続く)

### 摂津観音霊場参拝②

昨年十月七日、摂津観音霊場の第二回目の参拝を行いました。今回は霊場北部、茨木・高槻・箕面方面の六ヶ寺でした。

今は、高速道路も通り住宅開発が進む大阪北部ですが、昔は山深い信仰の地であったとのこと、行基菩薩や役行者が山岳修行を行ったことに想いを巡らせ、また都に近く、皇族との関係や、戦国時代の戦禍に見舞われたと、数奇な運命を重ねてきた縁起にも、歴史好きの方には興味の湧く古刹の数々でした。

由緒ある観音さまを護り続けておられることが感じられる寺院が多く、住職のお話にも真剣に聞き入りました。秋の紅葉には少し早かったですが、箕面の山々を堪能し、心安らぐ参拝になりました。

次の予定は、四月十八日(月)で、摂津霊場の第三回目です。是非ご参加下さい。

